



## 「人権と多様性に配慮して防災・減災に取り組む」

講師 特定非営利活動法人 イコールネット仙台 常務理事 宗片恵美子さん

日時 令和8年2月8日（日） 10:00（開場9:30）～11:30

会場 大沢市民センター 会議室

対象 大沢・川前地域にお住まいの方 20人（先着）

申込 1月7日（水）10:00から窓口・電話（022）394-6891で受付

費用 無料



## 【講師プロフィール】 宗片恵美子さん……特定非営利活動法人イコールネット仙台 常務理事

2003年、男女共同参画社会の実現に向け、イコールネット仙台の設立にかかわり、生活すべてをテーマに「伝え」「広め」「提案する」活動を続けている。

特に、2011年発生の東日本大震災以降は、避難所・仮設住宅における支援活動・調査活動に取り組み、女性防災リーダーの育成にも力を入れてきた。

その後、避難所に関するワークショップ等、地域防災力向上に向けた各種講座を継続的に行っている。

仙台市震災復興検討委員、仙台市防災会議委員等を経て、2024年、新潟県能登半島地震を踏まえた防災対策検討委員を務めた。

## 【大沢地域防災講座・地域防災講演会について】

6月14日（土）に開催した大沢地域防災講座①「2025. 大沢地区防災訓練」では、女性が安心して快適に過ごせる避難所を実現するためには、女性のリーダーが必要になることから、女性参加者が講話に集中できるように、炊き出し訓練は男性の町内会長が中心となり豚汁を作りました。

今回講師を務めてくださる特定非営利活動法人イコールネット仙台の宗片恵美子さんは、震災直後から避難所で洗濯代行ボランティアを行う中で、避難所の運営を担うのは男性、炊き出しをするのは女性と、文字通り性別によって役割が固定されている様子を多く目の当たりにして、強く違和感を覚えたそうです。

本来であれば女性もリーダーに加わり男性も調理に加わるべきで、男女どちらも主体的に防災や復興に関わる必要があり、宗片さんは特に女性の関わりを強く促すことが不可欠と感じ、女性の防災リーダーの育成にも取り組んできたそうです。

東日本大震災から15年を迎える今、災害時に女性が抱える問題を震災前から調査し、結果を震災時の支援に生かし、それらの活動に基づく提言が震災後に政府の防災計画に盛り込まれた宗片さんの、調査と支援の活動に基づいた説得力のある講演を、多くの方々にお聴きいただければ幸甚です。

## 【SDGs の目標5・目標11 のターゲット】

5.5……政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。

11.5……2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。